

ガバナーエレクト国際協議会出席報告

国際ロータリー第 2840 地区
ガバナーエレクト 牛久保 哲男



国際協議会は1月18日 11 時の登録から始まり 24 日の晩餐会をもって終了しました。全世界の 534 地区のガバナーエレクト及びその配偶者の出席が義務付けられ、カリフォルニア州サンディエゴのマンチェスター・グランドハイアット・サンディエゴホテルにて開催されました。

サンディエゴは米国 7 番目の都市で、人口は 122 万人、ロスアンジェルスからバスで 2 時間半のところであり、冬のいまでも 22 度くらいの温暖なところですが。私達日本人 34 地区のガバナーエレクト 33 名（1 人欠席）とその配偶者は小沢一彦 RI 理事をはじめ財団管理委員田中作次、理事エレクト黒田正宏、元理事渡辺好政、研修リーダーの松本、石黒、中田、SAA 藤林様達のご夫妻、また、タイの元 RI 会長のピチャイ・ラタクル氏もわざわざお出迎えの列に加わり温かい歓迎を受けました。

翌 19 日 9 時より本会議が始まり李会長の開会宣言、歓迎の辞、加盟国国旗紹介等のあと、ジョン・ケニー RI 会長エレクトの 2009～10 年のテーマ講演によって、「ロータリーの未来はあなたの手の中に」が発表されました。

ケニー会長エレクトは「ロータリアンである我々はこの素晴らしい組織に対して責任があります。幾世代ものロータリアンの肩の上に立っている私たちは、ロータリーの未来を決定する責務があります」との理由でこのテーマにしたと言っております。ロータリーの未来はエバンストンにある RI 本部で形づくられるのではなく、個々のクラブで形成されるものです。そしてまたロータリーでは全てがクラブに始まり、クラブで終わります。ですからクラブはどのように奉仕するのがベストかを定める自治権があり、ある年度に決められた分野の奉仕のみを行うべきだとクラブに押し付けることではないとも言っております。

しかし、発展し続けるため奉仕の継続性を目指す。そのための協調事項を掲げています。

水、保健と飢餓救済、識字率向上です。この講演内容はクラブ会員にも、よくご理解いただけたと思います。

研修は毎日 9 時より本会議（全体会議）での基調講演で始まり、その後は日本のエレクトを 2 班に分かれてのグループ討論を 5 時まで実施する毎日でした。21 日にはビル・ゲイツ氏による講演があり、新たに 2 億 5 500 万ドルの提供が発表され、会場は万雷の拍手で終わりました。しかしながら、この後のグループ討議では我々に課せられた、1 クラブ 2000 ドル目標に対する、様々な意見が沸騰し時間の経過を忘れるほどでした。

私はこの協議会で多くのロータリー知識を学び、また多くの出会いの機会を持つことができたことを感謝しております。

これからは 2840 地区の皆さんとの出会いを楽しみにしております。経済環境の厳しい中でのロータリー活動は、更に難しいでしょう。どうか「ロータリーの未来はあなたの手の中に」あります。皆様の力をお借りして頑張りますのでよろしく申し上げます。